

質問回答

NO.	質問	回答
1	<p>●C01：エチレングリコールモノメチルエーテルの抽出前処理法について</p> <p>H12要調査マニュアルでは活性炭抽出法とSPME法の2種類が記載されておりますが、活性炭抽出法では当該物質の回収率が30%と手引きに記載されている要件の70%を大きく下回っております。また、SPME法における塩化ナトリウム又は炭酸カリウムを用いた場合の当該物質のMDLはそれぞれ1.9 µg/L及び1.6 µg/Lであり、いずれも仕様書の要求下限0.19 µg/Lを満たしておりませんが、これら2つの抽出前処理法を採用しても問題ないのでしょうか。もし、上記以外に採用可能な抽出前処理法があればお教えください。</p>	<p>最新版手引きを踏まえ、要調査項目等調査マニュアル（平成12年）と同一の方法又はそれと同等以上の方法を用いて、再現性、回収率を確認し、担保する形での調査をお願いしたい。</p> <p>なお、検討したものの環境調査までに要求感度等が困難な場合は、過去の調査例等を参考に、環境省と調整することもあり得ると考えている。</p>
2	<p>●C01：エチレングリコールモノメチルエーテルの分解性や保存性について</p> <p>エチレングリコールモノメチルエーテルの分解性や保存性について記載されておきませんが、それらの情報があればご提供いただけませんか。もしそれらの情報がない場合は、採取から分析までの期間はどのように設定すればよいのでしょうか。</p>	<p>必要に応じて分解性を確認し、分解のない期間内の調査をお願いしたい。</p>